

吉賀中だより

令和7年3月24日
吉賀町立吉賀中学校
(文責：城市)

令和6年度 学校教育目標

「**自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成**」

春分の日を過ぎ、あちらこちらの桜の開花予報がニュースで流れています。積雪の多かった今年の冬がようやく終わりを告げ、一日毎に春の気配を感じるようになってきました。

学校は今日が修了式。令和6年度が終わります。今年度も保護者の皆様、地域の皆様にはご支援・ご協力を賜り本当にありがとうございました。お陰様で生徒は、この一年間無事に過ごすことができ、一人一人が心身ともに大きく成長をすることができました。どうぞ来年度も引き続きご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

生徒の皆さんは、明日25日からは4月7日までの春休みに入ります。今年度、この学年で、自分の成長したところやできるようになったことを振り返ってみてください。そして、新年度新たな学年の生徒としての更なる成長をめざし、課題点やうまくできていないことをどう克服したり力をつけたりしていくのかを考え、進級に向けた準備を進めてください。「富士山に登ろうと心に決めた人だけが富士山に登ったんです。散歩のついでに登った人は一人もいませんよ。」という、秋山ジョージさんのマンガ「浮浪雲」の一節を以前に紹介したことがありますね。「良い結果を得るためには、良い準備が必要」です。進級に向け、いろいろと考えたり準備をしたりしてみてください。一年後の素敵な自分の姿を想像するときとワクワクしてくると思いますよ。一步一步着実に前へ前へと歩みを続けてください。

卒業証書授与式（3月8日（土））挙行

卒業証書授与式を3月8日（土）に挙行し、第78期卒業生9名が笑顔で巣立っていきました。今年度の卒業生は、いわゆるコロナ禍が治まったとはいえ、様々な行事や活動をそれまでとは変更や改善せざるを得ず、試行錯誤の中で新たな工夫を取り入れた取組の毎日でした。今年度は生徒会スローガン「UPDATE our SCHOOL（アップデート アウ اسکール）」の元、運動会、文化祭等の大きな学校行事をはじめ、日々「当たり前な事を ばかにしないで ちゃんとやる」という吉賀中ABCを、最上級生として全校生徒の先頭に立ち、本当に意欲的・主体的に実践し立派にやり遂げてくれました。卒業生の素晴らしさの全てを言い尽くすことはできませんが、様々な場面で常に笑顔を絶やさず仲間を信頼し、いつも前向きに取り組んだ頑張りや功績を讃えたいと思います。

卒業生との思い出を思い浮かべながら、式の最後に一緒に校歌を歌ったときには、別れの寂しさに思わずこみ上げるものがありました。

めざす生徒像

- 誠実な生徒 【誠実】
- 自ら行動できる生徒 【自主】
- 新たな表現のできる生徒【創造】
- 学び合い高め合う生徒 【連帯】

当日ご臨席いただけなかった地域の皆さんも多かったと思いますので、「在校生送辞」「卒業生答辞」を以下に全文掲載いたします。



在校生送辞 在校生代表 さん



教室の窓から差し込む日差しにも、春の気配を感じるようになりました。吉賀中学校を卒業される九名の皆さん、保護者の皆さま、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同、心からお祝い申しあげます。

今、卒業生の皆さんは、とても充実した3年間の中学校生活を思い出されていると思います。今、僕の心にも先輩方と一緒に過ごした日々が懐かしい思い出となって浮かんでいます。

2年前の春、僕は不安と期待を胸に吉賀中学校へ入学しました。学校生活について右も左も分からなかった僕に、先輩方は優しく声を掛けてくださいました。そのおかげで、不安もいつの間にか無くなり、とても心が軽くなったことを今でも鮮明に覚えています。

入学してからは、吉賀中学校の伝統でもある挨拶の仕方を一から教えてくださったこと、初めての委員会活動では、仕事内容を丁寧に教えてくださったこと、分からないことだらけだった僕たちに、3年生の皆さんはどんな時も優しく寄り添って指導してくださいました。

県大会出場を目標に、一生懸命に打ち込んだ部活動の時間では、先輩方は僕の憧れの存在でした。大会に向けて真剣に練習に取り組む姿には、いつも圧倒されていました。大会で成果を上げることが出来たときには、一緒に喜び合い喜怒哀楽を共にした瞬間はかけがえのない思い出です。

学校行事では、どんな困難な壁にぶつかったときでも、3年生みんなで知恵を絞り合いながら乗り越えていました。そんな3年生の姿がとても頼もしくかっよかったです。行事を終える度に、僕は3年生のような最上級生になりたいと思いました。

これまで数々の場面で僕たちを支え、学校の中心となって吉賀中学校を引っ張ってくださりありがとうございました。しかし、先輩方は僕たちに「吉賀中学校を任せても大丈夫だろうか」と心配されている方もいるかもしれません。大丈夫です。これまで共に過ごしてきた日々で先輩方から学んだことを心に留めて、吉賀中学校の伝統を引き継ぎ、アップデートしていきます。

明日から先輩方は、それぞれが目指す夢に向かって進まれます。決して楽な道ばかりではないと思います。道に迷ったりつまずいたりすることもあると思います。しかし、そんなときは吉賀中学校で過ごした3年間の思い出してください。みんなで頑張ったこと、笑い合ったこと、励まし合ったこと、たくさんの思い出が、皆さんの背中を押してくれるはずですよ。

いよいよ別れのときです。「君が選り歩いた道にしか咲くことのない花があるんだ」ずっとずっと、3年生のことを応援しています。皆さんの更なるご活躍をお祈りして在校生からの贈る言葉とさせていただきます。

卒業生答辞 卒業生代表 さん



温かい日差しに春の訪れを感じる季節となりました。本日、この良き日に私たち9名は、たくさんの思い出が詰まった大好きな吉賀中学校を卒業します。多くの方々に見守られこのような素敵な卒業式を行ってくださることを卒業生一同心より感謝いたします。

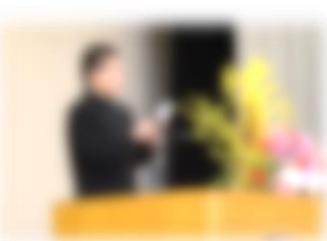
大きな期待と不安を胸に抱き中学校生活の第一歩となった入学式。卒業式を迎えた今でも当時の気持ちは鮮明に覚えています。新しい生活が始まることにウキウキした気分での吉賀中学校に入学しました。あの日から私

たちの中学校生活は始まりました。

1年生。「立ち止まって45°の礼の挨拶」。伝統の挨拶をする先輩たちの真似をして中学生になったことを実感しました。また、小学校の頃とは違い、授業時間が長くなったことなど新しい生活に慣れることに苦労しました。中学校で初めての運動会や文化祭などの学校行事では、活躍する先輩たちの姿に大きな憧れをもち、いつか自分も同じように活躍したいと思うようになりました。

2年生。後輩ができ責任感が強くなりました。先輩と呼ばれる立場になり後輩のお手本として、また、先輩を支える立場としてどうあるべきかを考えて生活するようになりました。12月には生徒会長に任命され学校を引っ張っていく存在になり、生徒会執行部のみんなと協力して様々なことに挑戦しました。初めて運営した3年生を送る会では、主役の3年生たちが楽しめるような企画を考えて実行しました。

そして迎えた3年生。「中学校生活の集大成」という意識を胸に始まりました。部活動では、今まで積み上げてきた全てをかけて最後の大会に挑みましたが、やりきれないままに終わってしまったむなしさや悔しい気持ちが残る結果になってしまいました。「やり直せるならもう一度やり直したい」という思いになった一方で、高校ではこの悔しさを晴らしたいという思いを持つこともできました。6月下旬には、待ちに待った修学旅行がありました。ビルが立ち並ぶ東京の街、ホテルの部屋ではしゃいだ夜、初めてのディズニーランド。あっという間の3日間でした。「平和の尊さ」や「ふるさとのおよさ」に改めて気づくことのできた最高の旅行でした。義務教育最後の運動会では、3年生の力が試される行事として夏休みから応援やパネルの計画を立て、準備に取り組みしました。1、2年生への指示の出し方や伝え方を試行錯誤し何度も挫折そうになりましたが、「UPDATE OUR SCHOOL」というスローガンの元、時には色組の枠を超えて灼熱の暑さの中準備を進めました。当日は天気にも恵まれ、青空の下、会場はたくさんの笑顔と歓声が溢れました。11月の文化祭が執行部として運営する最後の学校行事となりました。「UPDATE OUR SCHOOL」というスローガンの元、これまでの伝統を受け継ぎながら、よりよい文化祭になるように全力で挑戦しました。全校合唱にも取り組みました。例年以上に人数が少なく大変なことや挫折そうな時もありましたが、自分たちにできる全力を尽くしやりきりました。みんなで「水平線」を歌いきったこと、これは協力し合ったからこそ成し遂げられたことであり誇りに思っています。そして迎えた受験シーズン。9名みんなで心を一つにして受験に臨み、一人一人の思いを絵



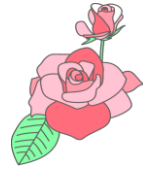
馬に書き込みました。書類の作成や作文、面接練習や学力検査の勉強など大変でしたが、それらを乗り越えることができたのは、いつもみんなと語り合える「学級」という場所があったからです。時に励まし合い、時に競い合いながら、お互いを鼓舞し合った仲間たちがいたから私たちはやりきることができたのだと思います。

後輩の皆さん。これからの吉賀中学校を皆さんに託します。

1年生。挨拶も元気で吉中の挨拶の伝統を受け継いでくれています。4月に入学してくる後輩たちにもその挨拶を伝えてあげてください。また、その明るさで先輩たちも支えてあげてください。

2年生。いよいよ最高学年ですね。勉強、部活、学校行事、受験、と本当に忙しくて大変な一年が始まります。ですが、あっという間に過ぎ去っていく一年でもあります。「今、自分は、自分たちは何をすべきなのか」ということをしっかり考えて行動してください。きっとこれから先は、これまでに出会ったことのないような高い壁にぶつかることもあると思いますが、それを11人のみんなで力を合わせて乗り越えていってください。大丈夫。皆さんならきっとできます。

少人数だからこそ、一人一人を大切に誰かが誇れる中学校にしていってください。後1ヵ月で新しい後輩たちが入学してきますが、吉中生の名に恥じない振る舞いで温かく迎えてあげてください。今まで紡いできた伝統を、私たち3年生の思いを皆さんに託します。これ



からの吉賀中学校をよろしくお願いします。

3年間一緒だった同級生のみんな。傍にいたことが当たり前で学校へ行けば毎日当たり前に出て言葉交わし笑い合った。そんな「当たり前」も明日からはないのだと思うと寂しい気持ちになります。これからはそれぞれの道に進んでいきますが、私たちは吉賀中学校の卒業生という絆で結ばれています。みんなと出会えたこと、共に学んだこと、叱られたこと、協力し合い成し遂げたこと、全てがかけがえのない宝物です。みんなと中学校生活を送ることができてよかった。本当にありがとう。

いつも熱心に指導してくださった先生方、職員の皆さん。時に厳しく、時に優しく、たくさんの温かい言葉をかけてくださいました。勉強のことだけでなく人間関係や学校生活のことでも、たくさんのアドバイスをいただきました。見えないところでも私たちを支えてくださっていたこと心から感謝しています。本当にありがとうございました。

そして、家族の皆さん。いつも誰よりも近くで私たちのことを支えてくれています。わがママを言ったり、強く当たってしまったり、迷惑をかけてしまったりしたこともあります。そんなときでも、大きな心で私たちのことを温かく受け止め寄り添ってくれます。普段はなかなか口に出していませんが、本当に感謝しています。いつもありがとう。これからは少しずつ恩返ししていけるように頑張るので、これからもよろしくお願いします。高校からは家族と離れて一人で暮らす生活が始まる人も多いですが、一生懸命生活していきます。たまに帰ってこれた時には、家族のみんなと食べる温かいご飯を楽しみにしています。

私たち9名は義務教育課程を修了し、それぞれの道を進んで行きます。この先どれだけ辛く厳しい事があっても、これまでの学校生活で学んだ事を元に、仲間たちと乗り越えていきます。周りの人たちへの感謝を忘れず、どんな困難にも全力で立ち向かい前を向いて進んで行き、自分たちを「UPDATE」していくことを固く誓い、答辞といたします。



いつの間にか 時は流れ もう今日は卒業の日
人はいつか旅立つものだけど
いつの日にか またどこかで会える気がするからね
輝く日々を忘れないで

岩原郡さんの答辞に続けて卒業生が選曲した、川嶋あいさんの♪旅立ちの日に・・・♪を精一杯歌い上げて9人の卒業生は巣立っていきました。

鹿足郡技家作品審査会 受賞

おめでとう！

◇金賞	さん(2年)	さん(1年)	
◇入選	さん(2年)	さん(1年)	さん(1年)

お詫びと訂正 ※先月号において以下の受賞記録に抜かりがありました。大変申し訳ありませんでした。正しくは以下の通りですので訂正してお詫び申し上げます。

2024年度 第32回島根県版画展 受賞

◇優秀賞	さん(3年)		
◇優良賞	さん(3年)	さん(3年)	さん(3年)
◇佳作	さん(3年) さん(3年)	さん(3年) さん(3年)	さん(3年)

おめでとう！

